

GOVERNOR'S Monthly Letter Final



Rotary
District 2510



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度ガバナー 武部 實

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階 TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
e-mail : rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2016-2017年度国際ロータリーのテーマ 「人類に奉仕するロータリー」



国際ロータリー第2510地区 2016-2017年度地区目標

- 全クラブがMy Rotaryに、登録しロータリー・セントラルで目標を設定して下さい。
- 地区財団活動資金(DDF)の少なくとも20%以上をポリオプラスに寄贈する。
- ロータリー財団100周年を記念し、年次基金への寄付を前年度より5%増やす努力を。
- 地区全体の会員数を3%増やす努力を。

魅力あるクラブづくりで会員増強を

CONTENTS

●ガバナーメッセージ……………1	●2016-2017年度ガバナー補佐退任のご挨拶……………8
●第108回ロータリー国際大会に参加して……………2	●2016-2017年度地区委員長退任のご挨拶……………12
●2017年ロータリー国際大会inアトランタ(ジョージア州)参加報告……………3	●新会員のご紹介／訃報……………21
●第44回ローター・アクト地区大会報告……………4	●ロータリー財団・米山記念奨学会寄付……………22
●現新ガバナー補佐引継ぎ会議と現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議報告……………5	●米山奨学生のご紹介／第27回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の報告……………23
●第1グループインターシティミーティング開催報告／第10・11グループ合同インターシティミーティング開催報告……………6	●5月出席率・会員数……………24
●札幌はまなすRC創立25周年記念式典・祝賀会報告／第2グループインターシティミーティング・声別ロータリークラブ創立60周年記念式典開催報告……………7	●6月出席率・会員数……………25



感謝の気持ちでいっぱいです。

国際ロータリー第2510地区

2016-2017年度ガバナー **武部 實**
(札幌南RC)

ガバナー・ノミニニー・エレクト・ガバナーの3年間、大変多くの方々との出会い、大変多くの方々にお世話になりました。札幌南RCの皆さんには力強く支えて頂きました。とりわけ橋本代表幹事をはじめとする地区幹事の皆さんには地区組織、公式訪問、各スケジュール、各種セミナー、地区大会等々の準備から実行まで全てお任せでありました。12グループのガバナー補佐の皆さん方には、一言多いガバナーのサポートにご苦勞をお掛けすると共に見事にサポートして頂きました。各地区委員会の皆さん方には地区組織の合理化の中、十分なコミュニケーションも出来ずにご苦勞をお掛け致しました。心より感謝申し上げますと共にお詫びを申し上げます。

最後に、公式訪問、各セミナー、周年記念祝辞、各グループIM等々のスピーチで申し上げた幾つかを再度申し上げます。ガバナー月信の結びといたします。

再編断念に思うこと。

各グループ及び各クラブが再編論議の中で、国際ロータリーと地区及び各クラブのあり方、ガバナー補佐と各グループの位置付け等真剣に考えて頂いたことに深く感謝申し上げます。大きなグループに再編することよりも一つのグループが4~5クラブの編成の方が国際ロータリー、強いては地区の活性化につながるのではないかと考えるようになりました。

各クラブの現状分析が重要

クラブには地域の人口、産業、会員数等による違いがあり、ロータリークラブはこうあるべきと言う定義はありません。しかし、まずクラブの現状をよく分析する事が重要だと思います。・クラブが会員数に見合った活性化が期待出来る合理的組織になっているかどうか。・青少年プログラム、奉仕プログラム等が地域から喜ばれているかどうか。・一部の人对する奉仕活動、あるいは自己満足的活動に終わってはいないか。等々これらのことを十分分析し見直す事が重要だと思います。

やめる勇氣

時代は日々変革しています、ロータリーも日々変革しています。ロータリーには変えてはいけないことがあります、変えなくてはいけないこともあります。継続は最も重要ですが、やめる勇氣も必要です。形を変えて継続することも考えられます。

地域と共に

自分たちが必ずしも主催者である必要ありません、ライオンズクラブ・青年会議所・ソロプチミスト・教育委員会や他の奉仕団体・ボランティア団体とも協力し合って地域の人達の活動を支援し、参加させていただく。こうしたことを通じてロータリーの意義や存在を知って頂くことが大切だと思います。

未来を先取りするロータリークラブとライオンズクラブの合同事務所

57名の会員を有する伊達のロータリークラブと同規模の伊達ライオンズクラブは合同事務所でした。更に事務は一人の女性が両クラブの事務処理を担当している。私は常々ロータリークラブもライオンズクラブも、又、ソロプチミスト、青年会議所、地域のボランティア団体も奉仕の心を持つ人達の集まりであり、そこに垣根をつくっては本当の奉仕団体とは言えないと申して来ました。全国34地区にその例がなく、将来の奉仕団体のあり方を暗示するものだと思います。

思い出に残る地区大会記念懇親会

札幌パークホテルの地下にびっしり1058席、見事な光景でありました。全員指定着席で、一品一品配膳の三ツ星モリエールオーナーシェフ中道氏監修によるフランス料理のフルコース。お料理の美味しさもさることながら、よくこんなこと考え実行したなどの声が沢山聞こえてきました。全ての方々に驚きと、満足感を持って頂けたとするなら大変ありがたく、嬉しいことでもあります。

結びに一言

私たちロータリアンは、偉い人たちの集まりではありません、お金持ちの集まりでもありません、ステータスでもありません。地域と共に活動をする仲間達でなければならないと思うのです。第2510地区の全てのクラブが益々活性化されることを祈念申し上げます。ガバナー月信の結びと致します。



第108回ロータリー国際大会に参加して

地区RI国際大会推進委員会

委員長 **羽部大仁**
(札幌南RC・PG)

我々第2510地区(北海道西部)武部寛ガバナーをはじめとする21クラブから87名で、第108回ロータリー国際大会(ジョージア州アトランタ)に6月10日-14日まで、参加して参りました。

今回の大会は100年前の1916-17年アーチ・クランPRI会長が前任の会長の功績を称え記念品を贈るべく寄付を募り、記念品を買った残りの26ドル50セントを「世界で良いこと」をするための募金をつくるアイデアを提唱しました。以来ロータリー財団は今年度、100周年を迎えました。ロータリアンは実に一世紀の間、世界中の地域社会や人々の生活を改善してきました。この財団100周年誕生の地アトランタで、「100周年を祝いましょう!」がジョンF.ジャームRI会長のメッセージでした。

開会本会議に先立ち、6月11日(日)7時30分から日本人親善朝食会が開催され私も数人の仲間と出席して参りました。ジョンF.ジャーム会長の挨拶、ポールA.ネシェル次期財団管理委員長からも今回の財団100周年を祝う挨拶、ジョン・ヒューコ事務総長から事務的な事に関する要請がありました。

午前10時からジョージア・ワールド・コンGRESSセンターにおいて開会本会議が開催されました。100年の鐘の紹介と開会が宣言され、スタートしました。その後、各国の国旗が入場し、日の丸の入場には興奮しました。

ネイサン・ディールジョージア州知事が歓迎の言葉を述べられました。その後講演の後、ジョンF.ジャーム会長から歓迎の辞が述べられました。楽しい雰囲気の中で、余興も素晴らしいものでした。

今回の開会本会議は、午前と午後の2回開催され、私は1回目でしたが、大半は午後からの参加でした。

2回目の本会議が終わる時間を見計らい、午後7時から北海道ナイトがマジアーノ・リトルイタリアで84名の参加を戴き賑やかに開催されました。沖縄那覇北クラブから3名の皆様のお越しを戴き終始和やかに進行されました。

この度のナイトは実行委員会が組織され、皆様の企画立案に対し衷心より厚く御礼を申し上げます。参加されたクラブ紹介は実に楽しいものであり、最後にはくじ引きがあり、大いに盛り上がりました。くじ引きにご協賛くださった武部ガバナー(ガバナー特別賞)、国立ガバナーエレクト、小山ガバナーノミニ、福田ガバナーノミニ、デジグネート、安孫子PG、嵯峨PGのご協賛に、心から感謝御礼を申し上げます。

大いに盛り上がった北海道ナイトも9時30分をもって会場に大きな輪が出来、ロータリーソング「手に手つないで」の大合唱で閉会しました。参加下された多くの皆様、そして実行委員会の皆様本当にご苦労様でした。



2017年ロータリー国際大会inアトランタ(ジョージア州)

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **池田達昭**
(札幌南RC)

今年の国際大会は、アメリカ合衆国で盛大に開催されました。開催地であるジョージア州アトランタは、「風と共に去りぬ」の舞台であり、またニュース専門チャンネル「ケーブルニュース ネットワーク(CNN)」や「コカ・コーラ」、また「デルタ航空」が本拠を置くアメリカ南部の商業、経済の中心地でもあります。

第2510地区 羽部大仁地区RI国際大会推進委員長(PG)のもと、「北海道ナイト」には札幌南RCから19名、札幌南RC10名、真駒内RC8名、岩見沢RC6名、札幌東RC5名、小樽南RC、札幌北RC各4名、札幌手稲RC、函館RC、静内RC各3名、他に江別RC、千歳RC、滝川RC、札幌RC、新札幌RC、札幌西北RC、小樽RC、余市RC、白老RC、栗山RCからの会員総勢81名が参加されました。また札幌南RCの友好クラブ那覇北RCから更に3名ご参加され総勢84名でナイトを賑やかに開催されましたことを初めにお伝えします。

札幌北RC所属齊藤会員に大変お世話になり、このツアーを(株)産経海外旅行様の企画のもと、6月9日(金)午前10:30新千歳空港から東京羽田に飛び、成田国際空港に移動後、まずは最初の寄港地サンフランシスコに同日午前10:35着。空気が違うのを肌で感じるのでしょうか意気揚々と専用車に乗り込み、飲茶で有名な「Yank Sing」にて昼食をいただき、一日観光を満喫。ユニオンスクエア、ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャーマンズワーフなど西海岸の爽やかな気候のもとシャッターチャンスをとる方もいらっしゃいました。夕食はシーフードを堪能し皆さん気分が更に良くなったまま、目的地アトランタ市に向け同日夜22:50発ユナイテッド航空1152便、4時間40分のフライト中に休息され、翌朝6月10日(土)6:30アトランタ着。長い飛行時間でしたので午前中は各々自由時間とし、午後から大会会場「ジョージアワールド コンGRESS センター」を見学、事前登録、周辺見学をしました。大会前日に関わらず、世界中からロータリアンが大勢集まり、バナーや名刺をフレンドリーに交換する風景が目的を共有している人々の絆の強さを表していました。大会前会議として、ローターアクト大会前会議、青少年交換役員大会前会議、そしてジョンF.ジャーム会長主催平和会議が開催されていましたので、多数会場にいたのも納得です。

夕方大会会場を後にし、皆さんで成功の前祝いをDAVIO'Sというイタリア料理店で行いました。羽部地区RI国際大会推進委員長のご挨拶から宴が開始され、美味しい料理を楽しみました。

武部ガバナーに対し1年間本当にお疲れ様でしたという嵯峨PGからの温かいお言葉で会は閉められ、翌日の本会議に備えました。

さて、翌6月11日(日)よいよ第108回 2017年ロータリー アトランタ国際大会の開会式、本会議の日となりました。早朝には日本人親善朝食会があり羽部PG、国立GEと令夫人、小山GNと令夫人らでご参会されました。

本会議は、登録順に参加時間が指定されるので午前に行かれる方、午後に行かれる方と2組に分けて出席です。この会議では、会長主催平和会議が開かれ、ロータリー平和センターを通じたロータリーによる平和構築活動に焦点をあて、重点目標である紛争の根底にある貧困、疾病、非識字といった課題への取り組みが紹介されました。また、平和と国際理解の推進においてロータリアンやロータリープログラム参加者、学友が果たしてきた役割にもスポットライトをあてながら、次の100年で達成すべきことについても話し合われました。またロータリー財団100周年パーティー、世界の仲間が集まる友愛の家での交流、親睦そして情報交換により活動のアイデアを広げていました。記念展示等、会場全体は人で溢れんばかりの賑わいでした。恒例の参加国紹介では、Japan!と呼ばれるのを待ちわび実際にコールされたときは日本全国のロータリアン100名程が立ち上がり、拍手喝采を受けました。

本会議場を後にし、午前組参加の方々と合流し北海道ナイトの会場「Maggiano's Little Italy」というレストランに移動しました。このレストランは地元のロータリー例会会場にもなっており、スタッフもとてもフレンドリーで迅速な対応がなされ、この旅行の一番の盛り上がりを見せた貴重な時間を皆さんと共有できました。この北海道ナイトの企画、運営は、羽部地区RI国際大会推進委員長をはじめ各クラブから有志が集まり、小樽RC所属杉江会員のリードのもと、参加各クラブの紹介、抽選会そして最後には全員による「手に手つないで」の大合唱で思い出に残る素晴らしい会となり、アトランタでの最後の夜を楽しみました。

6月12日(月)名残惜しつつ午前10:40アトランタを後にし、ニューヨーク市へと一行は心弾ませ向かいました。世界各地でおきている異常気象のせいか午後1:00に到着した時の気温は33度。地元の人もこんなことは珍しいと言っているほどでした。ホテル到着まで市内観光を行い、午後4:30頃ホテル到着。休憩された後、自由行動で散策される方、また本場ミュージカルを楽しむ方それぞれの時間を楽しみました。翌日もオプションツアーとして3コースが用意され、NYCを満喫されたようでした。この日の夜は、このツアー最後の晩餐です。創業130年「キーンズ スターキハウス」での大晩餐会。大ぶりの塊牛肉を思う存分楽しみ、最後はこの5日間の締めくくりとして武部ガバナーによるスピーチで閉会しました。

あらためて、ご多忙の中たくさんの参加者の皆様におつかれさまでしたとお伝えし、報告とさせていただきます。そして来年トロント(6/23~27)、さらにはハンブルグ(2019/6/1~5)へも第2510地区から多くの皆様とご一緒できることを楽しみにしております。

最後となりますが、武部G、安孫子PG、羽部PG、嵯峨PG、国立GE、小山GN、札幌南RCの皆様には大変お世話になり、またツアーを企画していただいた(株)産経海外旅行の齊藤会員にもこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



第44回ローターアクト地区大会報告

地区ローターアクト委員会

委員長 **石山 嘉治**
(森RC)

6月24日(土)札幌市プレミアムホテル-TSUBAKI-札幌にて第44回ローターアクト地区大会が開催されました。三浦地区代表は地区大会テーマを～百花繚乱～とし地区メインテーマであるOne for all, all for one「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の成果が地区大会のテーマなのではと感じ、ローターアクトの目標を達成できたとの強い思いが感じられました。

午後2時30分より開会式、来賓として武部ガバナー代理として国立ガバナーエレクト、札幌南RC中川会長、第2500地区池田ローターアクト委員長をお迎えし提唱ロータークラブのロータリアン、第2500地区アクターはじめ新潟、神奈川、大阪、茨城からのアクターが参加され総勢103名の登録を頂きました。

地区広報より活動報告発表があり、引き続き卒業式が行われました。今回6名のアクターが卒業を迎え一人一人に卒業証書と記念品を授与、卒業生からの挨拶では思い出が蘇るのか涙で声が詰まる場面があり感動的な卒業式となりました。閉会式では次年度地区代表、地区役員の紹介があり昨年度より実践している「報連相」を継承し情報共有して更なるローターアクト発展を誓いました。

懇親会では今年度地区ローターアクト委員会を退任する今井、前田、赤山委員と私に退任感謝状授与式、花束贈呈というサプライズがあり思わず目頭が熱くなる身震いをするほどの感動を覚え地区委員会とアクターが奉仕活動を通じて相互に信頼してきたという実感がこみ上げてきました。

地区大会の企画運営した伊東かほり実行委員長をはじめとする札幌南ローターアクトクラブメンバー、提唱ロータークラブであります札幌南RCに感謝致します。

最後に地区委員会はアクターを指導し育成する立場ではありますが、彼らから学ぶことも多々あり若い感性に触れ合いこの二年間は私のロータリーライフの中で最も充実して期間でした。



現新ガバナー補佐引継ぎ会議と 現新ガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議報告

国際ロータリー第2510地区

地区代表幹事 **橋本 耕二**
(札幌南RC)

6月18日(日)札幌パークホテルにて、現新ガバナー補佐引継ぎ会議及び地区委員長引継ぎ会議が行われました。午前10時30分から現新ガバナー補佐引継ぎ会議が開催されました。開会の挨拶として、武部ガバナーが一年間行ってきた事についてお話がありました。その後、ガバナー補佐の活動報告ですが、今回の会議の発表順は、現ガバナー補佐、次に新ガバナー補佐と交互に発表をするという順番に行われました。第1グループから順次、現ガバナー補佐の活動報告、次期ガバナー補佐の活動計画報告の発表と12グループまで行われ、各ガバナー補佐の熱い思いが発表され、予定時間をオーバーしそうな状況でした。閉会の挨拶として国立ガバナーエレクトの挨拶で午前の部は閉会となりました。

その後、12時35分から昼食・休憩としてホテル1階のテラスレストラン ピアレで昼食を取り、午後の部として現新ガバナー補佐・地区委員会委員長引き継ぎ会議が行われました。武部ガバナーのご挨拶で開会となり、次に合同会議にあたり国立ガバナーエレクトからお話がありました。その後、各委員会活動の報告が現委員会委員長から発表があり、続いて次年度の委員長から活動計画報告がありました。委員会によっては、引き続き委員長を務める委員会もありました。午後の部も、時間が足りなくなりそうな状況で行われました。閉会は、小山ガバナーノミニーからの挨拶があり、無事に予定時間で終了しました。

その後、会場を移して、現新役員合同懇親会が立食形式で行われました。司会進行は、森川次期地区代表幹事が担当し、武部ガバナーが開会の挨拶を行い、武部ガバナーから塚原PG・遠藤PG・熊澤PGが、今回の会議では、一言も話す機会が無く座っているだけは辛かったであろうということで、マイクを渡し各PGから一言ご挨拶を頂きました。現役員の苦勞を称え、新役員の活躍を祈りながら、小山ガバナーノミニーの閉会の挨拶で懇親会は終了となりました。



国際ロータリー第2510地区第1グループ インターシティミーティング開催報告

第1グループ ガバナー補佐 石川 士史(羽幌RC)

今期は昨年4月開催の規定審議会で大幅な変更案が採択されて各クラブの対応と今後のロータリー活動にどんな変化をもたらすのかクラブの自主性が問われるスタート年度となりました。例会頻度や適切な出席要件、欠席による終結の方針の修正など、クラブ独自で決定する事が許される事や、従来通りの規定で変更の無い選択も独自の決定が認められること、その他複数の会員種類の選択等々、新しいロータリーの時代を迎えたと言って良い状況下で各クラブがどんな選択をして変化、初年度をスタートしたのか、その取り組みの内容を持ち寄り更に今後に向けてこの変更をクラブの発展に繋げて行く為の情報交換の機会とするべく、各クラブの今期の取り組み状況や考え方を発表。

その後、武部ガバナーより地区内69クラブの公式訪問を終えた今の思いの丈を長時間にわたってお話いただき、地区内各クラブの様々な対応状況や、ともすれば自己満足に陥りやすいロータリー活動を見直し本当に意味のある「地域とともに活動」を実現しているクラブの事例をまじえて、大変熱のこもったご講演を戴き、今後の活動に活かすべく大きなご示唆を戴きました。最後は日本一の漁獲を誇る「はぼろの甘エビ」を堪能して、来賓、会員一体となって大変楽しい親睦交流会を終えました。



国際ロータリー第2510地区第10・11グループ合同 インターシティミーティング開催報告

第11グループ ガバナー補佐 増田 幸久(北斗RC)

2016-17年度の第10・11グループ合同IMは、武部實ガバナー、国立金助ガバナーエレクトご臨席の下6月3日(土)午後4時よりフォーポイントバイシェラトンホテル函館にて開催されました。

10グループホストは函館亀田ロータリークラブ、11グループホストは北斗ロータリークラブが務め、最近のロータリーの変化に着目した「ロータリーの曙とパラダイムチェンジ」の題名で、地区職業奉仕・基本理念委員会の玉井清治委員長(函館亀田RC)が基調講演を行いました。

講演終了後に武部ガバナーから講評をいただき、タイムリーなテーマ設定と歴代指導者の金言などの講演内容をご評価いただきました。

引き続き行われたIM懇親会では、JJYフェローズというバンドが出演しましたが、なんと森川順治次期地区代表幹事がリードボーカルを務めておられました。

登録総数347名、総会参加者177名、懇親会出席148名。4時間程度のIMでしたが、地域でのロータリアンの交流と親睦およびロータリー情報の伝達という所期の目的は十分に果たされたと思われま。

また、次年度国立ガバナーを輩出する10・11グループのさらなる結束の一助にもなったのでは、と考えております。



札幌はまなすRC創立25周年記念式典・祝賀会報告

札幌はまなすRC幹事 佐藤 勉

札幌はまなすRCは札幌北RCをスポンサーとして、1992年6月に創立総会を行いスタートしました。以後、会員が12名まで減少したものの、皆の努力により21名まで増加し、この度6月6日(火)に、創立25周年の記念式典と祝賀会を例会場である札幌サンプラザにて行いました。

今回は25周年ということもあり、コンパクトにさせていただくこととし、武部ガバナー、竹原ガバナー補佐、札幌北RC、兄弟クラブである当別RCと札幌モーニングRCの会長・幹事らのご出席をいただき、総勢33名にて記念式典が催されました。皆様には年度末のお忙しい時期に来ていただき、改めて御礼を申し上げます。

記念式典は午後5時から行われ、坂田会長の点鐘の後、北川実行委員長による開会の辞に引き続き、国歌斉唱「奉仕の理想」を皆で斉唱し始めました。

式典では武部ガバナーより来賓祝辞を頂き、そのなかで、当クラブの青少年奉仕活動であるナイターでの少年野球大会について言及していただきました。この活動については8月12、13日に第133回大会が回されますが、今後も継続出来るよう記念事業として優勝旗を作成することとしました。

その後の記念祝賀会では、竹原ガバナー補佐の来賓祝辞をいただき、各RCからもスピーチを頂くなど、和やかな雰囲気でお終えることが出来ました。



国際ロータリー第2510地区第2グループ インターシティミーティング・ 芦別ロータリークラブ創立60周年記念式典開催報告

第2グループ ガバナー補佐 沼前 治孝(芦別RC)

6月24日(土)、第2グループ・インターシティミーティング、同時に、60周年記念式典は芦別福祉センター及び会場を移し芦別スターライトホテルに於いて、武部實ガバナー、橋本地区代表幹事をはじめ多数の地区役員、会員諸兄のご参加により開催されました。

近年の国内、世界情勢の急激な社会環境の変化に対応し、国際ロータリー規定審議会在、大幅に規制緩和を行ったことにより今後ロータリー活動は「歴史的な変革の時代」に入ったと言われております。そして、それを受けて武部ガバナーは、重点目標として地区の改革、地域と共に生き、同時にクラブの合理化を提唱しました。そして、総評には地域と共に汗をかくことが重要とご教示頂きました。記念講演は浅野一弘教授の「18歳選挙権と日本政治」でありまして若者の社会参加を期待するものでありますが、今後の我々クラブの次世代に対する協力の糸口になりました。また同時開催されました芦別ロータリークラブ創立60周年記念式典は岩見沢ロータリークラブをスポンサーとして昭和32年地区内9番目のクラブとして発足し武部ガバナー、芦別市長萩原真様をはじめ多くの来賓、参加総人数157名をお迎えしての開催となりました。記念事業として、「地域と共に歩むロータリー」をスローガンに3つを行いました。

1. 芦別ロータリー杯「北空知U-10少年サッカー大会」、
2. 「日台友好青年の翼」と題し芦別高校生と台北金甌女子高校との学生交流会、同時に芦別ロータリークラブと台北東海ロータリークラブとの交流会、
3. 道の駅スタープラザ芦別にオープンカフェセットを寄贈させていただきました。

最後に、祝賀会はスターライトホテルに場所を移し皆さんに盛大に華を添えて頂きました。この事業に参加いただきました皆様に、改めて感謝とお礼の気持ちをお伝えし、会員一同、心新たに奉仕の理想の下、地域との絆を一層深めて活動を継続していく所存です。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



2016-2017年度 ガバナー補佐退任のご挨拶



第1グループガバナー補佐
石川 士史
(羽幌RC)

ガバナー補佐を終えて

初めての経験であり大変緊張しがバナー補佐として公式訪問を皮切りに始まった1年前がつい先日のように思えます。

今日まで会長・幹事会や例会訪問に際しましても温かい友情でご支援ご協力を賜りました各クラブ会長、幹事様はじめ皆様方に心より御礼を申し上げます。

今期は昨年4月開催の規定審議会で大幅な変更案が採択されて各クラブの対応と今後のロータリー活動にどんな変化をもたらすのかクラブの自主性が問われるスタート年度となりました。そんな変化に対応するべく第1グループIMは「変革のとき-変わるロータリー、変わらぬロータリー」のテーマのもと武部ガバナーを講師にお迎えし開催をさせて頂きました。地区内69クラブの公式訪問を終えた今の思いの丈を長時間にわたってお話しいただき、地区内各クラブの様々な対応や、ともすれば自己満足に陥りやすいロータリー活動を見直す、本当に意味のある「地域とともに活動」を考える大きな示唆を事例をまじえて沢山頂戴いたしました大変楽しい意義ある交流会を今年もグループ会員全員登録で終えることが出来ました。

武部ガバナー、橋本代表幹事をはじめ地区役員の皆様にも心より感謝申し上げます。永い1年間になると当初思っておりましたが、各ガバナー補佐の皆様をはじめ多くの方々との出会いや、新たな経験を得た楽しいロータリーライフとなりました事に心より御礼を申し上げ退任のご挨拶いたします。



第2グループガバナー補佐
沼前 治孝
(芦別RC)

ガバナー補佐退任にあたり

思いがけないご指名を受け土山先輩の遺志を継承することになりました。

1年を振り返りますと、先ず、7月よりの公式訪問には武部ガバナーに同行致しまして、「地域と共に」を重点目標にして改革と合理化を情熱的に話されていた姿に後押しされました。又、例会訪問、会長・幹事会等、各クラブの役員、会員の皆さんには好意と友情をもってご協力頂きましたことに心より感謝申し上げます。特に、グループ地区再編におきましては、各クラブにご意見を頂戴し今後の課題ともなりました。又、今年度規定審議会によりロータリーに柔軟性を導入する大改革が打ち出されました。近年の地域社会の変革に合わせ各クラブが充分検討し良い方向に進むことを願います。

最後に芦別RC60周年記念事業に合わせましたIMには武部ガバナーをはじめ沢山の同志に友情を頂き有難う御座いました。記念講演の浅野一弘先生により新世代の役割が期待される中、今後のロータリーがその羅針盤になるべく人生の道場であるロータリーでお互いに自己研鑽し会員増強につなげていけたらと思います。第2グループ会長、幹事をはじめ会員の皆様から感謝申し上げます。



第3グループガバナー補佐
枝廣 榮美
(栗沢RC)

ガバナー補佐の退任挨拶

1年間、第3グループのガバナー補佐職を何とか務めさせていただきましたが、武部ガバナーの温かいご理解のなかで補佐職を務めさせていただきました事に厚くお礼申し上げます。

IMの大会、親睦行事、ガバナー公式訪問、会長・幹事会の開催、更に補佐クラブ訪問と続き、不安と心配の多い中で一つ一つの行事を進めてまいりましたが、8クラブの会員の皆様から温かいおもてなしの心で接していただきました事に深く感謝申し上げます。

私のロータリー歴30年を越える中で、この度補佐職を務めさせていただきましたが、補佐職であるがゆえに大勢のロータリアンと出会い、知識と友情を深めさせていただきました事は、私の大きな財産になりました。

この1年間、多くの皆様の温かいご指導、ご理解、ご協力に心から感謝申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。



第4グループガバナー補佐
竹原 巖
(札幌北RC)

出会いと友愛に感謝

昨年2月20日の「ガバナー補佐研修セミナー」から始まった、補佐対象の各種会合(会長エレクト研修セミナー、現新ガバナー補佐引継ぎ会議、地区研修会、地区研修・協議会)などを通して、国際ロータリーや武部ガバナーの目標、運営方針などを学習することが出来ました。また、多くのグループ内のクラブ訪問・クラブ協議会などを通じ、各クラブの特色や様々な親睦を深める活動、思い入れのある奉仕など、活発な活動を学ぶことが出来ました。そして、旧知のロータリアンと旧交を深め、新たなロータリアンとの出会いから、友愛を育むこととなり、感謝と学びの一年間を過ごすことが出来ました。

3月11日の第4・第5グループの合同インターシティミーティングは、他グループのガバナー補佐を含め589名の登録をいただき盛大に開催することが出来ました。開催準備には札幌北RCと新札幌RCのロータリアンのご支援と、グループ内クラブのご協力をいただき、心よりの感謝をお伝えします。

国際ロータリーを中心に変わりつつあるロータリーに、疑問をもっていた私の思いから、深川純一先生(伊丹RC)に『ロータリーの真髄~変えてはいけないロータリー~』というテーマで講演いただき、参加者に改めてロータリーを考える機会となったIMであったと思います。この一年は、自身のロータリー人生を再考することも出来た、充実の一年間でした。



第5グループガバナー補佐
石黒 光男
(新札幌RC)

補佐を経験してみても

第5は7つのRCがあります、それを武部ガバナーから4回のように。昨年6月ドイツ人と結婚した娘が忙しくなるなら6月に来て、ついでに、ミュンヘンRCに、メイキャップ。連絡が来なく、隣のアイズRCに出席して来ました。娘の通訳で妻と3人で出席。日本のような形式はなく本当に面喰いました。戻って、グループ内各RCを5回周り、私の新札幌RCとはすごく違うことにきずいた1年間でした。20年以上いたクラブは井の中の蛙。IMお断りが、第4の竹原さんの情熱で押し切られ、無事終わり8人のガバナー補佐が集合しました。お返しに、倶知安、長沼、苫小牧、羽幌、栗山のIMIに参加。ここでも、地方のRCの結束力の強さを本当に感じました。改革の武部ガバナー、JC時代から性格は知っているので、気楽でしたがあの元気さにはびっくり、感想挨拶がスラスラ元気に簡潔に話されるのには自分ではできないな。

アトランタの国際大会にシカゴ大会以来の10年ぶりの出席。嵯峨さん、武部さん、小山さん、国立さんの奥様たちと、妻がみんなの苦労や心構えを雑談で話を聞いて、お金はかかるし、よくやってくれるねと文句ばかりの妻が貴方もよくやっているとお褒めの言葉。札幌東RCの白石会長と終わったら、ゆっくり休んで夫婦で食事と言っていたのが7月5日に亡くなったと奥さんから、当の本人が1番びっくりしていると思います。後悔のない毎日の生活で過ごさなくてならないと、胸に感じた1年でした。



第6グループガバナー補佐
長谷 一
(倶知安RC)

多くの出会いと学びと感謝の一年

第6グループは、「地域と共にあるロータリークラブを目指して」を今年度のテーマとしてこの1年間グループの会員の皆様に奉仕活動を実施していただきました。地域が必要としている奉仕活動なのかを検証していただき、次年度へと繋げる1年間であったと思います。

ロータリー経験の浅い私でしたが、ガバナーの意向を伝えることを重点に活動いたしました。クラブ訪問においては、ガバナー公式訪問が円滑に進むこと、そしてIMにおいて多くの方に有意義な時を過ごして頂けるよう多数の登録をお願いする事に注力して回らせていただきました。

会員皆様の御理解と御協力、御支援を頂き、任務を終え、各クラブそれぞれの活動・例会のあり方から多くを学ばせていただきました。心から感謝申し上げます。しかしながら、ガバナー公式訪問で、武部ガバナーには大変失礼な思いをさせてしまった場面があった事、ガバナー月信の講評で見解の相違があった事など私の力の至らなかったことをお詫び申し上げます。

武部ガバナー、各グループの補佐の皆様、第6グループ会長・幹事、そして会員の皆様1年間大変お世話になりました。国立ガバナー年度2510地区の更なる躍進を期待いたします。



第7グループガバナー補佐
高木 繁 秀
(長沼RC)

ガバナー補佐の退任にあたり

ご指導を戴きました武部ガバナーをはじめ、地区役員、各クラブ会長・幹事・各クラブ会員の皆様のご支援とご協力を戴きながら2016-2017年度第7グループのガバナー補佐の大役を何とか終えることが出来ました。皆様方には心から感謝を申し上げます。

振り返ってみると、今年度当初より、地区目標の「地区組織の活性化」に伴いグループの編成について「会長・幹事会」を通じて各クラブ内で検討して戴きました。結果的には現状維持となりましたが、「各グループ内で各クラブの実情に合わせた方法で協力しながら活動して行く」と云うことを再認識させられたのではないのでしょうか。次年度より第7グループのIM開催はクラブ輪番制で実施し、ガバナー補佐の選出はグループ内で協議の上選出しますので、次年度以降はIM開催クラブとガバナー補佐輩出クラブとは必ずしも一致するとは限らないこととなります。今後もクラブの相互交流と情報交換に期待するところであります。また、第4・第5グループ合同IMにお招きいただき、はじめて他グループのクラブ活動状況を知ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。第4・第5グループの皆様方に深く感謝申し上げます次第であります。

今後も時代の変化に対応しながら、第7グループのクラブはもちろんのこと、地区内各グループのクラブが益々活躍・発展するよう祈念申し上げ、退任の挨拶と致します。

この1年間ありがとうございました。



第8グループガバナー補佐
不 動 信 之
(静内RC)

退任ご挨拶

任期終りにあたりましてご挨拶を申し上げます。振り返って見ますと地区目標「地域と共に奉仕活動を」グループ内でのテーマとして掲げて活動を始めました。

第8グループの会長、幹事様には第1回から第4回までの会長・幹事会に出席いただきまして有難うございました。お陰様にてガバナー補佐としての役目と地区行事に理解を戴きスムーズに活動することが出来ました。

又、本年度は4回のクラブ訪問を予定しましたが無事に役目を果たすることが出来ました。グループ内クラブが、地域と共に根ざした特徴のある奉仕活動をクラブの力量に合せて活発に行なわれていることを実感いたしました。

10月には第8グループ5クラブが揃っては初めての合同奉仕活動を地域と共に(様似アポイ岳ジオパーク自然環境保全奉仕)実施することが出来ました。

2月にはIMを開催致しました。各クラブの会員増強の実践例とその他の奉仕活動についての実例発表で、各クラブの活動状況や実情について認識を深めることが出来ました。財政的負担を軽減して飲食を併なわない情報交換と親睦を深めるIMを開催することが出来ました。

武部ガバナーには数度にわたり第8グループにご足労を煩わし、ご指導を賜りましたことに対して、厚くお礼を申し上げます。

この1年間ホームクラブはもとより、グループ内各クラブの皆様、並びに会員ご家族の皆様のご支援とご協力で心から感謝とお礼を申し上げます、退任のご挨拶といたします。



第9グループガバナー補佐
廣 瀬 禎
(室蘭北RC)

ガバナー補佐退任のご挨拶

武部實ガバナーのもと、第9グループとの橋渡し役として1年間活動して参りました。

ガバナー公式訪問に始まり、その後様々な事がありましたが、特に印象深かったのは、グループ再編案が提示された事とIMでありました。

グループ再編につきましては、時を経るにつれ反対意見が多くなり、結局実現を見せませんでした。これにより活発な議論が交わされ、グループを見つめ直し、結束が強化され、更に会員増強の必要性がより認識される効果を生んだようです。

第9グループのIMIは、武部ガバナーの重点目標「地域と共に」に添って、「3市3町生涯活躍のまち」と題して、室蘭民報社工藤社長をコーディネーターとして、室蘭・登別・伊達の3市長にフォーラムを行って頂きました。

このフォーラムに於いて、西胆振圏全体が結束して事業を推進していく事が示されました。

今後、我々第9グループのロータリアンも、協力しあって地域に貢献する機会が増えるものと期待しております。

ご指導頂きました武部實ガバナー、橋本耕二代表幹事、佐藤源五郎副代表幹事、その他の幹事、事務局、各グループガバナー補佐、第9グループの会長・幹事・会員の皆様、1年間本当に有難うございました。



第10グループガバナー補佐
稲 葉 直 房
(函館亀田RC)

ガバナー補佐の任を終えて — 感謝の1年 —

この一年を振り返って武部ガバナー、地区幹事の皆様、ガバナー補佐の皆様、そして第10・11グループの会長・幹事の皆様にお世話になり深く感謝致します。この書面をお借りしてお礼を申し上げます。

昨年6月12日に、現新地区委員長、ガバナー補佐合同引き継ぎ会議に参加して、スタートしました。武部ガバナーが今年度の活動目標は①各グループの再編②会長・幹事会の召集と補佐の役割この2つの件が大変な問題になると感じておりました。

長万部RCの10グループからの離脱は、考えられませんでした。10・11グループの会長・幹事会は従来より年6回合同で開かれており、充実したものでした。

結果はガバナーのご指示通りにはなりませんでしたが、10・11グループの思いは「今まで通りやりましょう。」ということでした。クラブの主体性を重んじてくれたガバナーに感謝致しました。IMIについては北斗RCと函館亀田RCの合同で本年6月に開催しました。両クラブの幹事さんのもっとも適切なご準備のお陰で、最高の会を開催できたと自負しております。勉強会は我が函館亀田RCの玉井清治会員の講話を頂き、ロータリーの熱き思いをパラダイムチェンジとしてお話して頂きました。多数の参加に感謝しました。

一年間ガバナー補佐として任ぜられ、我がクラブの名に恥じぬ様努力致しました。厳しくも優しいガバナーと楽しい12人の仲間を得て、最高の一年でした。この友情は生涯の宝になります。このようなチャンスをくれた函館亀田RCの仲間に最高の感謝を致します。全ての係ってくれた仲間へ感謝致します。ありがとうございます。



第11グループガバナー補佐
増 田 幸 久
(北斗RC)

ガバナー補佐終了にあたって

松見前ガバナー補佐からの最初で最後の申し送りは、昨年6月に判明した松前クラブの終結というものでした。諸般の事情からやむを得ない状況であると理解はしたのですが、個人的には118Km往復4回すなわちほぼ1000Kmの運転から解放されたということでもありました。

年度の初期に予定されたガバナー公式訪問は台風来襲以外はほぼ順調に経過し、なかでも10・11グループ会長と国立ガバナーエレクトに出席いただいた「武部ガバナーを囲む夕べ」は、ガバナーと会長達がじっくり親睦を図るという目的を十分に果たした有意義な会合でした。ご出席の皆様へ感謝致します。

ガバナーに逆らう11G補佐、間の取り持ちに苦勞する10G補佐という解りやすい役割分担で終始した1年間でした。10G稲葉ガバナー補佐には足を向けて寝られない思いであります。

指名から約1年半というガバナー補佐関連の経験から、地区での意思決定の有り様などを垣間見ることができました。6月の最終ガバナー補佐会議で提案された補佐エレクトないし補佐ノミニーという、事前に心の準備と知識を集積できる制度が定着するならば、より充実したガバナー補佐の輩出が期待できると思われまます。

ガバナーから見て、ガバナー補佐経由で各グループをコントロールしようという試みは、気持ちにはよく分かりますが、時にガバナー補佐を苦境に陥れる可能性があります。虎(ガバナー)の威を借るガバナー補佐が、グループ内他クラブから歓迎される筈はありません。ガバナー補佐はガバナーの奴隷でいいのですが、グループを背負って地区に向かい出ている立場でもあります。この辺りガバナー補佐が勘違いしてしまうとえらいことが起こります。そして有り勝ちな勘違いでもあります。

次年度以降の地区役員の皆様のご配慮で指導に期待するところです。

1年間ありがとうございました



第12グループガバナー補佐
渡 辺 健 治
(苫小牧RC)

ガバナー補佐退任のご挨拶

武部實ガバナーのもと、一年間第12グループのガバナー補佐を務めさせていただき、その任を終えるに当たり、第12グループの会長・幹事および会員の皆様にご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

私にとってガバナー補佐という一年間は、ガバナー補佐としての役割をしっかりと果たせたのかと疑問に思うところであり、逆にロータリーを見つめ直す機会を与えて頂いた第12グループのロータリアンの皆様へ多くのことを学ばせていただいたと思っております。

私たち第12グループのIMIは、武部實地区ガバナーの重点目標「地域と共に」の方針に沿いながら各クラブで奉仕活動を展開してまいりました。その活動・奉仕についてより深く、お互いの奉仕活動への理解を深め、さらには今後の活動へと繋げていけるようテーマを「広げよう奉仕の輪 深めようご所属地域の絆」として取り組んで参りました。各クラブの特色ある奉仕活動が継続性ある奉仕活動となりロータリーの意義や存在を広く知って頂き次年度以降の各クラブ活動に反映されることを祈念し、所属クラブをはじめ関係各位に感謝申し上げます。退任の挨拶と致します。

2016-2017年度 地区委員長退任のご挨拶

会員増強委員会

委員長
嵯峨 義輝
(岩見沢RC・PG)



増強への強い行動がなければ、組織は衰退します。ロータリーにおいてもRI、地区、クラブそれぞれにおいて、毎年会員増強への活動が続けられております。しかしながら、会員の減少傾向が永年続いてまいりました。最大4,256人の会員数を擁したわが地区も2500~2600人の規模へと減少していますが、ここ数年、各クラブの必死の努力により減少傾向に歯止めがかかった、というのが現状です。

今、我々が最も留意しなければならないことは、退会防止です。ようやく会員の減少傾向に歯止めがかかったとはいえ、入会者と同数ほどの退会者が出ています。フェローとして行動を共にしてきた仲間の退会への心情にもっと寄り添う必要があります。また、入会歴の浅い会員がロータリーの良さ、価値、喜びを知る前に退会することへの対策をより検討しなければ、と痛感しています。

本年度武部ガバナーの3%増の目標を達成させるべくご尽力いただいたガバナー補佐、会長、増強委員会の皆様に感謝申し上げます、委員長を退任します。

RI国際大会推進委員会

オンツアーアトランタを 無事に終えて

委員長
羽部 大仁
(札幌南RC・PG)



2017年6月9日から15日まで、アメリカ・ジョージア州アトランタで「財団100周年を祝いましょう!」とジョン F. ジャーム国際ロータリー会長のメッセージの元に21クラブ87名の登録を戴き参加して来ました。

6月11日午前8時から日本人親善朝食会が、ホテルヒルトンにおいて開催され有志の皆さんと参加して参りました。その後、午後10時からジョージア・ワールド・コングレスセンターにおいて大会本会議が開催され、開会に先立ち100年の鐘の紹介とその鐘を鳴らしてロータリー財団200年に向けてスタートしました。

その後各国の国旗の入場、日の丸入場には些か興奮いたしました。ネイサン・ディールジョージア州知事が歓迎の言葉が述べられ、その後、講演に引き続き、ジョン F. ジャームRI会長から歓迎の辞が述べられました。

楽しい雰囲気の中で進行して余興も素晴らしく記憶に残る開会本会議でした。

私と数名は第1回目の本会議でしたが、大半は第2回目の本会議で閉会の期間を見計らい、午後7時から「北海道ナイト」がマジアーノ・リトルイタリアで84名の参加を戴き賑やかに開催されました。沖縄那覇北RCから3名の友情参加を戴き終始和やかに進行されました。

今回も「北海道ナイト実行委員会」が組織され、委員の企画・立案に唯々感謝の気持ちで一杯です。参加されたクラブ紹介も実に楽しいものであり、最後にはくじ引き大会で大いに盛り上がりました。くじ引きに協賛された皆様に心から感謝を申し上げます。大いに盛り上がったナイトも9時30分には会場に大きな輪が出来、ロータリーソング「手に手つないで」の大合唱で閉会しました。実行委員会の皆様ご苦労様でした。(174カ国3万3千人以上が参加)

地区拡大委員会

「未来をロータリーで」の メッセージを

委員長
細川 好弘
(静内RC・PG)



当地区では「衛星クラブ」が誕生して、新しいロータリー活動が新鮮な風を呼んでいます。続いてモーニングクラブ、Eクラブが誕生されることを願っています。

委員として、今年度の活動計画を年度初めに地区ガバナー補佐会議、地区委員長会議で説明をさせていただきましたが、積極的な働きかけも出来ず反省しております。

然しながら「未来をロータリーで」のメッセージを青少年へ発信出来るプログラムをロータリアンとしてクラブやグループの活動の中に組み込んでいただく企画を検討していただくようお願い致しますと考えております。

他力本願的なお話になりますが、今後のロータリーの拡大の為に仲間と共に若い青少年への語りかけで将来へのロータリアン誕生を確かなものに出来ないでしょうか・・・

意義ある業績賞選考委員会

委員長
安孫子 建雄
(江別RC・PG)



今年度は残念ながら応募がなく終了いたしました。地区内数多くのクラブに於いてはそれぞれ地域に貢献する奉仕プログラムを実施されています。そしてそれぞれが意義のある活動であると思います。

意義ある業績賞となると応募を躊躇することがあるのかと思いますが、次年度以降積極的にエントリーし選考を受けていただきたいと思います。

文献資料室

委員長
岩崎 修一
(札幌東RC)



文献資料室は今年度は活動方針として、「次世代の文献資料室作りを目指し、次の世代への文献資料収集や、提供方法について検討します」のもと活動をしてきました。

文献資料室の設立目的である、情報の蓄積の一端を地道にこなしてきたと考えています。また、資料室には貸し出し用の文献(VHS・DVD)がございますが、各クラブへの用法発信不足等により、地区内各クラブのお役に立てていないのではとの考えから、今年度貸出リスト集を作成いたしました。今後は各クラブへの発信方法などの課題を検討していきたいと考えております。

2017-2018年度も引き続き委員長を務めさせていただきますので宜しくお願いいたします。

学友委員会

新装学友委員会の始まりの 年にあたって

委員長
菅原 秀二
(札幌大通公園RC)



今年度の始まりの際に、武部ガバナーより、財団学友委員会を発展させて、財団学友に加えて、米山学友、ロータアクト学友、インターアクト学友、ローテックス(青少年交換学友)、RYLA学友といった青少年関係の事業すべてに関わる学友委員会を立ち上げる旨を伝えられ、その取りまとめ役を依頼されました。私の力に余る大役を任せられ、当初は方向を探りながらのスタートとなりました。

しかし、10月の地区大会で並行プログラムを実施することに決まったあたりから、次第に忙しくなってきました。元来RYLAセミナーを予定していたのですが、上記の趣旨から青少年すべてに関わるプログラムとなるように変更することとなり、議論を続けた結果、「青少年・学友・RYLAプログラム」として、地区大会と並行して開催することになった次第です。このプログラムに関しては、地区大会の講演者である水野正人氏を始め多くの皆さんにお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

その後は、最初からの目標であった、全学友の親睦と青少年関係プログラムをロータリアンに知っていただくための集会である「学友体験・帰国報告会」の準備に集中することとなりました。この企画に関しても、委員会で多くの意見をいただき、「学友体験報告会」と「学友帰国報告会」の二部編成としました。1月末の開催日には、100名近くの方々の出席をいただき、盛況のうちに「学友体験・帰国報告会」を終えることができました。また、当初の目標もおおむね達成できたと自負している次第です。この点についてのご協力にも感謝申し上げます。

2年目に向けては、各学友会の名簿整備を始め、まだ多くの課題が残っています。今年度もせっかく始めたオール学友というコンセプトを維持し、ロータリー・ファミリーの構築に継続して寄与していきたいと思っています。

広報・IC委員会

委員長
杉江 俊太郎
(小樽RC)



「ロータリーの広報」の目的は一般の人々にロータリーを広く知って理解を深めていただき、仲間を増やすこととあります。そのためにはロータリーの素晴らしい活動を正しくわかりやすく周りの人に伝える事が必要です。

当委員会ではその考え方をベースに外に向けた広報活動として「財界さっぽろ」への連載記事投稿とホームページの充実、内に向けては「マイロータリー」の登録推進を中心に活動してきました。

広報担当の「財界さっぽろ」では、1年間12号で21クラブと武部ガバナー対談ほか地区4委員会の記事を掲載しました。記事掲載にご協力を戴きましたクラブと地区委員会に心からお礼申し上げます。

IC担当のホームページの充実では、地区やクラブの活動情報を出来る限りアップしたものの、情報量が多くはなく、情報収集の方法などまだ改善する必要を感じました。また「マイロータリー」登録推進では、「マイロータリー」の理解度をアップして頂くために例会訪問や研修会などを実施しましたが、なかなか登録推進することが出来ませんでした。委員会では議論を重ねてきた新たな説明の仕方と登録方法を確立できたので、次期に活かしていきたいと考えています。

この1年間、お世話になりました武部ガバナーや多くのクラブとロータリアン、ご協力頂いた外部関係者の方々に心から感謝申し上げます。

職業奉仕・基本理念委員会

委員長
玉井 清治
(函館亀田RC)



皆様、1年間たいへんお世話になりました。特に卓話にて訪問させていただきました各クラブの皆様、フォーラムにお招きいただきました室蘭北RCの皆様、IMの講演をさせていただきました第10・11グループの皆様には個々の想いに深いものがござります。

今年度、当委員会は解りづらい「職業奉仕」をシンプルにクラブや会員にお伝えすることを念頭において活動いたしました。各クラブ職業奉仕委員長さんとのチャットワークやクラブを訪問しての卓話、フォーラム、IMでの講演等のなかで、「なぜ解りづらいのか」をお伝えし皆様とともに考えました。

その解りづらいひとつに「翻訳」の問題があります。ロータリーの原語である英語の和訳は、その日本語の意味と用法についても発祥したアメリカと日本とは、それぞれの文化が育んだ思想が違います。日本語の概念にない英語の和訳の難しさがあるような気がします。その最たる例が「職業奉仕」という和訳でしょう。VocationalもServiceも四つの漢字では訳しきれない英語です。この他にも「親睦」などがあります。元来ロータリーが日本に上陸した時点から思想などの翻訳における漢字の功罪が典型であり、内容についての誤解を招く元凶となっているようです。やはり「ロータリー語」として正しい意味をしっかりと私たちは学んでおかなければならないと思います。

手続要覧も規定審議会での制定案決定文書などが一字一句追記されますが、前後の文章等それにあわせて変更されることもなく整合性が取れず辻褄があわない内容も見受けられます。2016年版に記載された四つのテストの和訳に、「公平」「公正」両方が別々に印刷されていました。原文「Fair」を個人的にどう訳すかは自由ですが、問い質すと結局は「ミスプリント」との報告を聞きました。手続要覧の権威が本の厚さとともに薄れていくような気がしてなりません。

今後の問題として、RIから日本への情報伝達には「日本独自の翻訳組織」の構成が望まれます。大量な、しかも重要な情報の伝達は、単一の意味でしか持たない的確な言葉が、前後の文脈で明確に解釈されるような日本語でなければならないと思います。

ロータリーの素晴らしさは奉仕活動の実践にあります。その素晴らしさとともに職業人で構成されているロータリークラブやロータリアンは先人が築いた奉仕理念を十分に理解し、それに基づき、それぞれの地域社会のなかで職業人として、或いは職業を超えた人として、ロータリーを根本から考え、歩むべきと考えております。「職業奉仕」は本当に解りづらいものです。何とか少しでも興味を持っていただき、その素晴らしさも感じていただきますようお願い申し上げます。次年度もお気軽にご意見・ご要望などお問い合わせくださいませ。心よりお待ちしております。

RYLA担当

委員長
長田 正文
(岩見沢東RC)



RYLA担当となりましたが、7月13日第1回目のRYLAセミナー実行委員会を開催しましたが、今年度は地区大会の並行プログラムとしてRYLAセミナーを開催してくださいと地区より要望があり検討することになりました。ただ学友委員会と合同で開催することにより、RYLAの年齢制限からセミナーとしては開催できなくなり、「青少年・学友・RYLAプログラム」として開催することになりました。時間があまり無い中、青少年関連の委員会・学友委員会と何回か打ち合わせを重ね、無事並行プログラムとして終了することができました。当日は、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、R財団学友、交換留学生、ROTEX、米山奨学生、RYLA学友、RCCの総勢120名の参加で開催されました。プログラムは記念講演を挟み、午前と午後の2部構成で開催され、午前中は各委員会の紹介と、直前国際奉仕委員長の松原重俊氏が、パワーポイントを使い、第2510地区が世界で行っている事業を紹介していただきました。水野正人氏の講演を聴いた後、ワークショップを行いました。冒頭、水野さんが会場に来られ人間にとって何が一番大事かと云うお話をしていただきましたが、参加していた学友の皆様は真剣なまなざしでその話を聞き入っていました。ワークショップでは①オリンピック、パラリンピックからの学び、②国際交流について、③地域創生の3つの課題でワークショップを行いました。その中で話しやすい国際交流についての議論が多かったのですが、どのグループも活発に議論をしておりました。最後に、このプログラムを行うには、紆余曲折がありましたが、成功裡に終了出来た事に関係各委員会、地区幹事の方々に感謝の意を表し報告とさせていただきます。

社会奉仕委員会

委員長
遠藤 浩一
(岩見沢RC)



3年間社会奉仕委員長を務めてさせていただきました。この間、歴代ガバナーをはじめ地区役員、各クラブの方々のご指導をいただき何とか務めることが出来有難うございました。

多くのロータリアン、そして奉仕活動を通じての人々との出会いの中で、多くの事を学び、感じ、行動することができました。その中でそれぞれが目的を共有し責任と役割を果たすことで、友情あふれる関係が出来ていくことに喜びを感じられた充実した期間でありました。

その一つに東日本大震災支援事業に関わらせていただいたことは、一生忘れられない事柄になりました。参加してくれた子供たちの心に残り、大人になったときふと思い出してくれれば大変嬉しく感じます。

実施にあたっては多くのクラブからマンパワーなどの支援をいただき実施することが出来ました。多種多様な職業のロータリアン、それぞれの得意分野を存分に利用させていただき、本当にロータリーの団結力と知恵に脱帽でした。

まさにロータリーで結ばれた友情が全ての活動の礎と感じられました。そして親睦Fellowshipがいかに大事ななど、私自身が多くを学ばせていただいたことに厚くお礼を申し上げ3年間のお礼とさせていただきます。

国際奉仕・VTT委員会

委員長
谷口 正樹
(滝川RC)



委員長就任初めての年度でありましたが、何とか1年を終えることができました。地区内クラブの皆様、武部ガバナーをはじめ地区の皆様、そして委員会の皆様本当に感謝しております。

今年度もタイ国(第3340地区ノンカイRC・第3350地区バンコククロントイRC)の友情の下、タイ東北部ノンカイ県を中心とした11の学校で13の奉仕事業・職業訓練事業を展開できました。今年度の特徴としてクリーンウォーター事業として長年第2510地区が数多くの小学校へ浄水器を設置してきましたが、ここに来てその浄水器が破損して使えない物が発生している現状から、今年度より数年かけてこれら浄水器の「リペアー事業」を展開する初年度とさせて頂きました。故障の大きな原因は想定使用量を超える使用によってタンクあるいはバルブ等の

オーバーワークが原因でありました。考え方を変わるとそれだけ設置した学校の生徒あるいは地域住民にとって有効に使用して頂いている証拠であると思っています。現地を確認した際は学校の生徒、先生、地域の住民に寛大な感謝を受けてきましたのは、私たちが設置してきた浄水器は地域の住民にとって認知された重要な生活機器になっていることを確認し、そして我々が長年活動してきた奉仕活動は間違っていないことを確認してきました。

今年度は奉仕事業の進め方を変えた事や、タイで国民に敬愛されていた国王が死去したことなどで、事業完了が遅くなってしまい、例年開催してきた「検証ツアー」が開催できなかったことが悔まれ、そして多くの地区内メンバーに国際奉仕活動を体験する場を提供できなく申し訳なく思っております。

さて、7月より新年度が始まります、この経験を踏まえて活動してまいります、是非多くのメンバーの皆さんに国際奉仕活動・職業奉仕活動に触れる機会を作っていきますので新年度もよろしくお願いたします。

本当に1年間ありがとうございました。

青少年交換委員会

ふりかえり

まず、2016年7月～2017年6月はとても速い1年だったなと感じております。

これもひとえに皆様の青少年交換へのご理解、ご協力のもとスムーズな運営ができたことだからだと思います。1年間どうもありがとうございました。

初めての委員長職で右も左も全く分からない状況、委員会メンバーは全員青少年交換委員は初、全くのゼロスタートでした。

そのお陰かとても新鮮で、基本ベースの青少年交換の流れを再構築できたような気も致します。

私自身、2001～2002年青少年交換の派遣生でしたが、学生として行かせて頂く身分、その事業を運営する立場、これは180度以上違うもので、旅立つ学生の気持ち、高校生の年齢で親元を離れて異国へやってきた受入学生の気持ち不安感などはなんとなく理解してあげられるつもりでした。

しかし、ロータリアンとしてこの事業に携わるということは派遣経験者だからなどと言ったことは全く通用することなく、運営する立場、未来ある青少年をいかに安全に確実に派遣、受入する事でありました。

また、毎年増え続ける青少年学友であるROTEXという私たちの財産にロータリーをもっと知ってもらい積極的に我々の行事参加を促しロータリーに理解のある地域人材育成と言う観点から今年度は様々な行事にROTEXに参加してもらいました。

それらの行事を通して、派遣候補生、受入学生、ROTEXが交わり楽しんでいる彼らの顔から幸せを感じることができました。1年間の関わりの中で、受入学生が「今自分たちにここでできる奉仕活動」をテーマで研修の中でできそうな事を自由に考えてもらった際、我々委員は投げかけをし、学生たちに帰国前に何かできることを自分たちで考えてもらう場面がありました。

その最中に普段見えない一面を見る事ができたこと、例えば率先して前に立ってまとめ役になっていた学生は、実は将来先生になりたいという夢があるということなど、研修中での新たな発見も面白かったです。

委員は2年目でしたが、毎年個性の違う学生たちが集い新たな出会い、別れがあり同じ1年はもうないんだなと思って青少年交換委員会に携わってきました。

彼らの笑顔と、未来を担う若者のために今後も力になればと思います。

委員長
西村英晃
(恵庭RC)



インターアクト委員会

委員長
齋藤貴之
(札幌モーニングRC)



まずは、日々インターアクト活動にご支援を頂いている地区内の各クラブ及び各会員、並びに提唱クラブ皆様のご理解に心から感謝申し上げます。4年間地区委員を務めさせて頂き、今年地区委員長に就任し、改めてインターアクト活動の素晴らしさを感じた一年となりました。対象が「高校生」ということもあり、インターアクト活動のテーマをより明確にし、「学び・体験・交流」をキーワードに様々な活動に明確にし、「学び・体験・交流」をキーワードに様々な活動に明確な「意義」付けをしてロータリー活動との繋がりを意識づけるよう委員会活動を行って参りました。

自身としても、全国インターアクト研究会・全国インターアクト委員長会議に出席し、他地区のインターアクト活動を積極的に吸収することで、より本地区内の活動の活性化に寄与できるよう努めて参ります。

ローターアクト委員会

アクターと行動を共にして・刺激されて

委員長
石山嘉治
(森RC)



昨年第2510地区ホームページにローターアクト活動が随時掲載する環境を整備し、今年度も引き続き最新の情報が閲覧できるように致しました。加えてアクト地区行事はガバナー月信を通じて地区内ロータリアンに詳細な活動内容を投稿し周知に努めました。

地区委員会運営については昨年に引き続き委員の皆さんの活発な討議を経て合意による運営を行い議事録作成し情報共有に努めました。経験豊富な委員に助けられ、事業の取り組みもスムーズに進めることができ5回開催した委員会会議の出席率は平均80%でした。

アクト地区代表やアクト地区役員の皆さんとも意見交換を活発に行い、アクターが計画した内容について失敗を恐れることなくチャレンジする事を促しながら意見を求められれば助言し計画された行事は滞りなく実施出来ました。

今年度は、台湾新竹北区RACとの合同例会を昨年12月に札幌市に於いて開催、アクトバナー、アクトポロシャツを地区委員会予算、地区委員会委員より協賛金、提唱クラブ協賛金で揃え昨年度製作したブルゾンを加え奉仕活動でローターアクトのアピールする認知度向上のハード部門の環境が整いました。

次年度からはブルゾン、ポロシャツを着用し奉仕事業で更なる認知度向上を図る活動を期待しております。

更に年度当初、提唱ロータリークラブの支援だけではなくアクト自らが活動資金を得る努力をと促したところ5月にフリーマーケットに出店、貴重な財源を自らの手で得る経験をしました。

また今年度委員会目標である「新たなローターアクトクラブ設立を目指して」に関しては芦別RC、砂川RCより要請を受けローターアクトクラブの活動について卓話を行いました。

アクターと行動を共にして彼らから学ぶものが多くあり、年齢の垣根を超え目標を共有し計画達成に向け努力した事、加えて大なる刺激を受け充実した2年間でした。地区委員、アクターに感謝し2年間に渡る任期を終えることに感謝致します。

ロータリー財団委員会

最終のご挨拶

委員長
丸山淳士
(札幌真駒内RC・PG)



前年度遠藤秀雄委員長(登別RC・PG)より引き継ぎ、やっと1年を終了する時節とはなりましたが、私の任期は3年間継続のためまだ来期も継続することになっております。

ロータリー財団100周年を機に、練りに練っていた「財団未来の夢計画」が前年度より実行に移され、それまでの補助金申請に関する複雑な手続きが簡略化されました。

ペーパー依存の時代からネット普及によるペーパーレス時代への変化にも対応したことで、従来の極めて煩雑な、極めて専門分野化していた財団への各種申請や承認に関して緩やかで且つスピード化したことにより、地区内クラブからの各分野への申請件数が従来よりも極めて多くなり、その分委員会での手続きや配分の検討などで委員になった方々の負担が増えられ且つ各クラブへの請求金額を満額配分できない状態となっております。

ロータリー財団への寄付は3年後に各クラブへ寄付額に応じて各種奉仕事業に還元されるわけですが、多額の寄付を頂きながら、3年後に十分な資金の配分がなされなかったクラブや、寄付金が3年前になされなかったクラブにも配分がなされているなどの今後検討を要する事項が増加しております。

委員会委員の負担はまだ続きませんが、各クラブでの活動が消極的にならないよう委員一同総力を挙げて活動する所存であります。

財団資金管理担当

財団補助金の有効活用を願い

委員長
松原重俊
(砂川RC)



2013年に本格的に実施された「未来の夢計画」特に地区補助金は、地区財団セミナー、地区研修・協議会等で継続的にその利用に関して説明していることもあり、各クラブにも浸透してきていると思われます。寄付だけを強いられていた感のロータリー財団への寄付を、自らのクラブのために利用することができるようになった事は、財団への寄付の意味を理解して頂く、とても良い機会になっていると思います。地区財団各委員会、地区奉仕各委員会等も補助金を利用するために、クラブに対して希望通りの金額補助ではないものの、有効に活用する事が可能であると思われます。今年度も適正に分配され有効に活用されておりました。今後も多くのクラブの皆様にご利用していただければと思っております。そしてその事がさらなる財団へのご寄付のきっかけになってくれると良いのですが。

また、グローバル補助金に関しては、国際奉仕事業、財団奨学金などで利用されていますが、近年申請に対しての審査が大変厳しくなっているようで、当地区財団委員会を中心に申請担当部署の設置など個人の負担にならないような配慮が必要になっていくと思われます。グローバル補助金を利用することで充実した事業が可能であり、今後ますます重要になっていくものと考えています。

今後も財団の資金が有効に利用されることを望んでおります。地区補助金を利用するすべての皆様にお礼と感謝を申し上げます。一年間ありがとうございました。

財団資金推進担当

委員長
坂下賢二
(函館セントラルRC)



地区における資金推進は、財団への募金活動の役割を担っております。

ロータリー財団が最初のプログラムとして実施したのが18名の大学院生への奨学金の贈呈でありました。これが旧来の国際親善奨学金制度の始まりとされております。

私達が地域社会や国際社会で奉仕活動を強化、充実していくためには、奉仕活動に対する強化と資金面の援助が必要と成ります。

2014年度より一人当たりの寄付額150ドルをお願いしております。この年次寄付を初めと致しまして恒久基金、使途指定寄付、ポリオ撲滅への寄付をお願いしてきましたが、ロータリアンの皆様にもうひとつご理解頂けなかったことが残念であると共に、私の努力が足りなかったことを深く反省する次第であります。しかしながら、御理解を頂き御協力を頂きましたロータリアンの皆様には深く感謝申し上げます。

年次基金は、今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定させます。

社会経済が不安定で景気もままならない今日、財団への御協力を御願ひ致しますことは、非常に心苦しいことではありますが、寄付をすることによって世界中の奉仕活動に参加していることにも通じますので、国際ロータリーの活動を支援するという観点においてもロータリアン皆様の温かい御支援、御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

グローバルリワード担当

委員長
鍋谷操子
(函館セントラルRC)



ラビンドラン前RI会長とRI理事会は、クラブ会員の満足度と維持率を高め、さらには会員への感謝の気持ちを表すために、会員のみが利用できる新しい会員特典プログラム「ロータリーグローバルリワード」を発足させました(RIの要請によって2015年8月に地区組織として委員会が設置され、2016年度には担当委員が配置)。

担当の職務としては、RIからの要請に基づいて本プログラムの周知や利用推進に努めたところでありました。しかしながら、国内での利用可能な施設に制約があって利用率は低く、また、職業奉仕の理念との絡みで懐疑的な会員も少なくありません。

このため、これ以上の進展も見込まれないものと考えて、担当を辞することとしましたが、これまでのご高配に深く感謝申し上げます。次年度は、出村委員長の下、8名のメンバーの1人として1年間働かせていただきます。

財団補助金委員会

委員長
齋藤康嗣
(札幌真駒内RC)



2016-2017年度の武部ガバナー年度は、ロータリー財団からの補助金額は8,152,249円(1ドル102円)でした。

2016年3月にロータリー財団セミナーを開催し、4月30日にMOU(覚書)の締切、5月31日に申請書を締切、6月～7月に申請書の審査を行いました。8月5日にロータリー財団に申請、10月12日にロータリー財団から申請の承認をいただき、10月17日に各クラブに送金をいたしました。

2016-2017年度の配分

地区クラブ奉仕補助金	3,684,712円
地区財団奨学金委員会	1,600,000円
地区国際奉仕委員会	1,000,000円
地区社奉仕委員会	600,000円(キッズキャンプ 20万円)
学友	328,000円
グローバル補助金未承認奨学金(地区仮払い300万円)	
2016-2017年度補てん分	880,000円(2016-2017年度支払分40万円)
その他	59,537円(振込手数料、コピー、会議費等)

2016-2017年度はキッズキャンプ、グローバル奨学金等地区補助金では武部ガバナーには大変ご迷惑をかけました。お詫びいたします。

3年間の地区財団補助金委員長の任期は終わりますので、皆様にはご協力有難うございました。

奨学金委員会

委員長
齋藤博司
(千歳セントラルRC)



「輪・和」ロータリーっていいなあ

未来の夢計画の基に3年そして財団学友委員会の廃止にともなうこの1年をあたふたと過ぎてまいりました。その中にありながら、帰国した留学生(財団学友)への対応をどのようにすれば・・・?と考えながら本年度の地区派遣の文化研修者およびグローバル補助金候補者を決定しました。すなわち、文化研修者2名(アメリカ1名・ドイツ1名)とグローバル補助金候補者1名(オーストリア1学年)であります。前年度との違いは、文化研修3ヶ月・6ヶ月の派遣のところ、6ヶ月2名としたことです。

反省点については、お叱りをうけることは多々あると思います。小生としましては、当委員会主催の大きな行事の一つである本年度合格者全員を交えてのオリエンテーションが諸事情により開催ができなかったことです。それには、ガバナー・財団委員会関係者・学友委員会関係者・当委員会メンバーそして推薦ロータリークラブ関係者などロータリアン一同が介するものであります。留学生として目を輝かして夢の実現に向かって世界に飛び立っていく若者を支援する立場としてのロータリアンであることを誇りに思います。

次年度は、出村委員長の下、8名のメンバーの1人として1年間働かせていただきます。

ポリオプラス委員会

委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)



今期もポリオ撲滅基金に対しまして皆様には大変お世話になりました。私が3年間無事ポリオプラス委員長という大役を終えさせて頂く事が出来ました事、会員皆様の温かい御支援と御協力の賜物と心より御礼申し上げます。

今期ポリオ委員会の活動としては、ポリオの状況を理解して頂くチラシをお配りし、財界さっぽろに記事を掲載して頂いた他には大きな活動はありませんでしたが、顧みますと各RCさんよりの卓話依頼が今までになく多かった事もあり、皆様の中にポリオ撲滅の大切さが浸透してきた成果と委員会一同嬉しく思っております。

振り返ってみますと羽部ガバナー年度に、我が地区で初めてポリオプラス委員会が発足し初代委員長を請けさせて頂きました。裏話ですが初年度の委員会では、内科医の伊藤委員以外はポリオと言う病気については名前くらいしか分からないメンバーばかりでした。委員を請けた後、皆でネットや本を見てロータリーとポリオの係わりや、ポリオと言う病気の恐ろしさ等を勉強し合い、何とかここまでまいりました。

初年度には地区活動の第一目標としてポリオ撲滅を掲げていた為に、多数の地区内RCさんにポリオ撲滅キャンペーン活動を行って頂きました。地区としてはロータリーデーに併せて江崎DPGのポリオのご講演やSHANTIさんのJAZZコンサートや桂枝光さんの落語会を開催し盛況だった事が印象に残っております。

その後の年度はポリオ撲滅基金集めを中心に、ポリオ撲滅の為のグッズ作成やポリオ撲滅の意義はじめ、ポリオの現況や日本のポリオ撲滅までの歴史等を地道に皆様にお知らせして参りました。

ポリオは今年に入り6月末現在世界でまだ6症例しか出ておりません。ここまで減少した今だからこそ、撲滅活動を続けていく事でポリオ撲滅が現実になって参ります。残されているパキスタンとアフガニスタンは政情が不安定な為に、撲滅を進める上でも不確定な要素が多いと言えます。

しかしこのまま放っておけば再流行が起き、ポリオ撲滅を果たした日本にまでも伝播して来ないとは断言できません。世界からポリオが撲滅される日を心より願うと共に、今後ともポリオ撲滅活動に対しまして皆様の温かいご理解と御協力をお願い申し上げます。END POLIO NOW撲滅まであと少しです。

米山記念奨学・学友委員会

委員長
大石 清司
(新札幌RC)



一年を振り返って

今年度は当地区の米山記念奨学委員会と米山学友委員会が合同した年です。合同により国際親善と国際交流の懸け橋にふさわしい活動が豊かに成長・発展する可能性が広まったといえます。米山学友担当委員と米山学友会役員で4回の合同会議が開催されました。また新規奨学生11名を迎え、継続4名を含め当地区は15名の奨学生となりました。

9月にはカウンセラー研修も兼ね、月形樺戸博物館等への奨学生研修旅行が開催されました。奨学生も私達でさえ縁遠くなっている北海道開拓の歴史の一側面に興味津々のようでした。

地区大会では米山ブースが設置され、奨学生がドリンクサービスを受け持ちロータリアンとの交流も図られました。

10月の卓話月間を中心に奨学生・学友・委員によるクラブでの卓話が行われました。

また米山セミナーにおいてはよねやま親善大使ウ・エイさんのスピーチがあり、好反響を得ております。

1月には次期奨学生選考が行われ、今期と同じく11名の奨学生が誕生し、継続4名及び当地区初の海外応募学生も含め16名の奨学生となりました。また北広島RCさんが初の米山奨学生受け入れとなりました。

総体的に今年を振り返れば、合同したにもかかわらず、当委員会は前例踏襲的な活動であったことを反省している次第です。次期は合同したパワーを発揮するためにも情報の共有に努め、副委員長3名体制をとり、二役会の毎月開催をはじめ委員会の持てる力を余すことなく発揮したいと思っております。

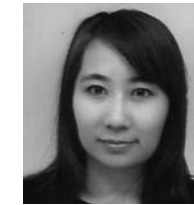
最後にお願ひしたいのは、現在69クラブで16名の奨学生です。更なる奨学生受け入れの為にも、寄付の地区目標達成にお力をお借りしたいと願っております。

新会員の紹介

(敬称略)



函館東RC
中川 るり子
12月13日入会
人材派遣業



函館東RC
小川 真実
12月13日入会
広告代理業



小樽RC
村井 浩昭
2月14日入会
自動車保険代理



小樽RC
江川 栄一
2月14日入会
印刷



小樽南RC
山谷 憲弘
4月15日入会
建築工事



岩見沢RC
山田 和訓
6月1日入会
税理士



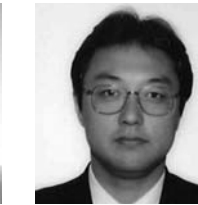
小樽RC
疋田 一晶
6月6日入会
商業地方銀行



小樽南RC
西谷 慎一
4月15日入会
総合警備



苫小牧RC
桜井 哲也
5月12日入会
生命保険



苫小牧RC
増田 仁志
5月20日入会
地方銀行



小樽南RC
芝原 文雄
6月9日入会
仏教



小樽南RC
田中 彰一
6月16日入会
花・植木販売



小樽南RC
井出 信治
6月30日入会
包装資材製造業



小樽南RC
保知 清人
6月30日入会
サービス業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



武田昭龍 会員(当別RC)
2017年5月10日ご逝去(享年84)

【ロータリー歴】
1976年4月6日入会(チャーターメンバー)
1976年-78年度 初代国際奉仕委員長
1979年-80年度 会員増強委員長
1980年-81年度 青少年委員長
1985年-86年度 会長
2010年 IM実行委員長
ほか数々の役員・理事・委員長を歴任
マルチプル・ポールハリスフェロー



筧 無関 会員(小樽南RC)
2017年5月23日ご逝去(享年84)

【ロータリー歴】
2000年9月19日入会
2004-2005年度 職業奉仕副委員長
2006-2007年度 出席・退会防止委員長
2016-2017年度 職業奉仕委員



小熊達也 会員(室蘭東RC)
2017年6月15日ご逝去(享年65)

【ロータリー歴】
2005年7月6日入会
2010-2011年度 幹事
2013-2014年度 会長
2016-2017年度 幹事、副会計

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
100%出席 11年

米山奨学生のご紹介

ご支援を受けて品格のある人間に **王 册** 第2510地区:北海道大学
中国 札幌北RC

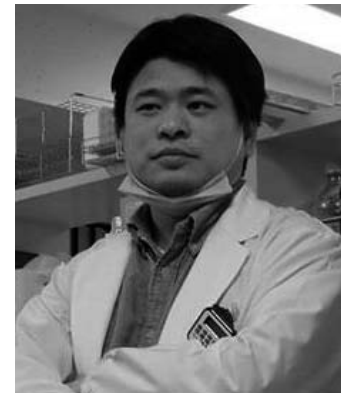
中国人留学生の王册と申します。北大で精神疾患の神経学的基盤について研究しています。奨学生として選定いただきまして有難うございます。深く感謝申し上げます。

奨学生に選定いただいた時から、私自身も財団の価値観に沿った行動を心掛けるようにして参りました。

当初は、ロータリーと言えば職業奉仕、学生に置き換えていえば学問に専念することと考えておりましたが、ある日成果をカウンセラーに報告したところ、カウンセラーは「よく頑張った」と褒めてくださった後に、ロータリークラブでしかできない成長をしてほしいとコメントをしてくださりました。

そこで、例会やインターシティミーティングなどのイベントに積極的に参加するように致しましたところ、ロータリアンにとって職業奉仕は1つの手段に過ぎず、それを介して品格のある人間になるのが最終目的であることに気づきました。それは他のためでもあり、何よりも自分が穏やかに人生を過ごすに必要不可欠な要素であることも分かりました。

これからも、ロータリークラブでしかできない成長をしたい、すなわち学業成績を求めだけでなく、品格のあるロータリアンに囲まれて品格のある学業人生を送りたいと思います。他のために、そして自分のために。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー			
札幌北RC	出村知佳子 会員(レベル1)	6月19日	
札幌真駒内RC	丸山 淳士 会員(レベル1)	6月20日	
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー			
芦別RC	早坂 勝 会員(1回)	5月26日	
芦別RC	多田 康司 会員(1回)	5月26日	
芦別RC	坂田 憲正 会員(3回)	5月26日	
江別西RC	大森 和子 会員(1回)	5月25日	
札幌RC	杉野目 浩 会員(2回)	5月11日	
札幌西RC	石丸修太郎 会員(5回)	5月19日	
札幌真駒内RC	高野 園子 会員(3回)	5月24日	
小樽南RC	野村 定弘 会員(2回)	5月19日	
小樽南RC	大淵 勝敏 会員(2回)	5月19日	
小樽南RC	上野 正之 会員(2回)	5月19日	
小樽南RC	荒田 一正 会員(3回)	5月23日	
小樽南RC	福島 正紘 会員(3回)	5月19日	
小樽南RC	新倉 吉晴 会員(3回)	5月19日	
小樽南RC	佐藤甚兵衛 会員(3回)	5月19日	
小樽南RC	岡崎 芳明 会員(4回)	5月19日	
小樽南RC	斎田 義孝 会員(5回)	5月19日	
函館東RC	原 隆俊 会員(2回)	5月25日	
函館東RC	森元 浩 会員(5回)	5月25日	
滝川RC	渡邊 恭久 会員(6回)	6月7日	
江別RC	笹浪 哲雄 会員(3回)	6月16日	
当別RC	永上 巖 会員(1回)	6月23日	
当別RC	朴 昶 勲 会員(1回)	6月23日	
札幌北RC	黒川 篤 会員(1回)	6月15日	
札幌モーニングRC	田上 建夫 会員(2回)	6月29日	
札幌モーニングRC	藤森 敏昭 会員(3回)	6月29日	
札幌東RC	和田 一仁 会員(1回)	6月30日	
札幌東RC	山崎 俊彦 会員(1回)	6月30日	
札幌幌南RC	佐々木雅之 会員(1回)	6月29日	
札幌幌南RC	佐藤 泰寛 会員(1回)	6月29日	
札幌幌南RC	和田 壬三 会員(3回)	6月29日	
札幌南RC	星野 尚夫 会員(1回)	6月23日	
札幌南RC	田辺 俊一 会員(1回)	6月23日	
札幌南RC	山本 勤 会員(1回)	6月23日	
札幌南RC	加藤 正雄 会員(4回)	6月23日	
千歳RC	瀧澤 順久 会員(7回)	6月20日	
函館五稜郭RC	石尾 清広 会員(1回)	6月22日	
函館北RC	吉田 勤 会員(3回)	6月15日	
ボール・ハリス・フェロー			
芦別RC	林 秀樹 会員	5月26日	
芦別RC	石川 洋一 会員	5月26日	
小樽南RC	三栖 裕司 会員	5月19日	
室蘭北RC	荒谷 信幸 会員	5月31日	
室蘭北RC	米塚 豊 会員	5月31日	
函館東RC	國谷 大輔 会員	5月25日	
函館東RC	杉谷 保子 会員	5月25日	
滝川RC	谷口 正樹 会員	6月7日	
江別RC	武田孝代司 会員	6月16日	
栗山RC	土井 道子 会員	6月29日	
当別RC	藤澤 康一 会員	6月23日	
札幌北RC	姫野 芳安 会員	6月15日	
札幌北RC	中瀬 智成 会員	6月15日	
札幌北RC	瀧澤龍之介 会員	6月15日	
札幌モーニングRC	賀来 亨 会員	6月29日	
札幌モーニングRC	宮部 光幸 会員	6月29日	
札幌モーニングRC	齋藤 貴之 会員	6月29日	
札幌西北RC	池上喜重子 会員	6月30日	
札幌東RC	池田 光司 会員	6月30日	
札幌幌南RC	大友 淳 会員	6月29日	
札幌大通公園RC	大坂 忠 会員	6月20日	
室蘭北RC	赤崎 幸三 会員	6月30日	
函館五稜郭RC	平林 秀樹 会員	6月22日	
函館五稜郭RC	廣田 友博 会員	6月22日	
函館五稜郭RC	川嶋 貴幸 会員	6月22日	
函館五稜郭RC	塚田 寛 会員	6月22日	
函館五稜郭RC	山田 信一 会員	6月22日	
ベネファクター			
札幌真駒内RC	丸山 淳士 会員	6月20日	

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者メジャードナー			
千歳RC	福田 武男 会員(15回)	6月19日	
米山功労者			
小樽RC	上浦 庸司 会員(2回)	5月23日	
江別西RC	西脇 信治 会員(2回)	6月7日	
札幌はまなすRC	斉藤 淳一 会員(1回)	6月20日	
札幌モーニングRC	紫藤 正行 会員(1回)	6月28日	
札幌モーニングRC	賀来 亨 会員(2回)	6月28日	
札幌モーニングRC	佐藤 元治 会員(2回)	6月28日	
札幌西RC	石丸修太郎 会員(6回)	6月5日	
札幌西北RC	渡邊 葉子 会員(5回)	6月30日	
札幌手稲RC	三戸 義美 会員(5回)	6月26日	
札幌幌南RC	中川 信喜 会員(2回)	6月29日	
札幌幌南RC	網干 要 会員(3回)	6月29日	
札幌南RC	木下 義章 会員(3回)	6月22日	
岩内RC	井戸 幸夫 会員(2回)	6月6日	
静内RC	四ツ屋義道 会員(1回)	6月22日	
静内RC	増本 裕治 会員(2回)	6月22日	
静内RC	長浜 和也 会員(5回)	6月22日	
函館五稜郭RC	石坂 仁 会員(3回)	6月30日	
函館五稜郭RC	林 真彦 会員(3回)	6月30日	
苫小牧東RC	木村 京子 会員(1回)	6月5日	
苫小牧東RC	青山 晴美 会員(1回)	6月5日	
苫小牧東RC	奥野 義雄 会員(1回)	6月5日	
苫小牧東RC	松下 昌平 会員(2回)	6月5日	
米山功労クラブ			
小樽RC	12回	5月23日	
札幌モーニングRC	18回	6月28日	
札幌西北RC	17回	6月30日	
函館五稜郭RC	26回	6月30日	
苫小牧東RC	8回	6月5日	

第27回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の報告

(ホストクラブ札幌南RC)

大会 会長 武部 實(RI第2510地区ガバナー/札幌南RC)
大会 副会長 星野 尚夫(札幌南RC)
大会実行委員長 橋本 耕二(札幌南RC)
大会競技委員長 平 昌夫(札幌南RC)

平成29年6月23日(金)札幌国際カントリークラブ(島松コース)にて開催されました。全国からの登録者33名、当日は天気にも恵まれ、さわやかな初夏の中でプレーが行われました。

優勝は、工藤一人会員(室蘭北RC)・準優勝 田中 由彦会員(新札幌RC)・3位 星野尚夫会員(札幌南RC)。大会は無事盛況に終わりました。



